

Formula 5F6

Catalinbread Formula 5F6は、ヴィンテージツイードBassmanならではのキャラクターを、どんなクリーンアンプでも味わうことのできるオーバードライブです。

ツイードBassmanは、ベース用アンプとして作られたアンプですが、もしかすると全ての「ギター」アンプの中で、最も影響力のあるアンプと言えるかもしれません。Treble, Middle, Bass, そしてPresenceコントロールに、4x10インチスピーカーは、ギターアンプとして完璧な構造で、ギタリストも即座にそれに気づきました。Bassmanがどのような影響を与えたかは、実際にその回路と、有名な英国製アンプなどを比較してみるとよく分かります。

ツイードBassmanのヴォリュームをロー〜ミディアムあたりにセッティングすると、リッチで煌びやかな美しいトーンが得られます。そこから少し上げていくと、ギタリストにとっては最高の、ピッキングアタックに高い応答性を示す“on edge of breakup”キャラクターが表れます。オープンコードは鐘のような、豊かなハーモニクスが得られます。そして、Volumeを12まで上げれば、分厚く、クリーミーで生々しいクランチトーンに。そのサウンドは全てのヘヴィギターの源流となる、まさにオリジナルなサウンドです。さらに、強く弦をヒットすれば軽いコンプレッションと共に音のレスポンスが少し後退。この音は本当に気持ち良く、プレイがしやすいバランスです。

ツイードBassmanは、まさにタッチセンシティブで、全帯域において美しい音です。ストラトキャスターでプレイすればまさにMade in Heaven。ギブソンスタイルのギターなら、さらに歪みやすくなり、その音はかつての偉大なレコードで聞いた音だとすぐに気がつきます。

Formula 5F6は、そんな全帯域におけるレスポンスを実現！

強く弾けば即座にコンプレッションがかり、煌びやかで鐘のようなトップとタイトなローエンドのワイドレンジなクリーンサウンド再現します。そして、それだけではないのです。Formula 5F6の回路を調整し、美しいヴィンテージBassmanのレスポンスを実現した後、こう考えました。「もし、マーシャルの存在を知らずに、Bassmanをゲインアップしたらどうなっただろうか」と。そして、ゲインやトーン回路を微調整してみると、全く新しい音、ハイゲインでブライトなアタックを持つ音ができあがりました。

そして、この音を、内部のModeスイッチで切り替えるようにしました。

Formula 5F6は、様々なスタイルの楽曲に適した音を出すことができます。例えばBuddy GuyやOtis RushのようなストラトにBassmanをつないだブルースから、JimmyやSRV、Robbie Robertson、Robben Fordなど、多くのギタリストが奏でた音を、オーバードライブやファズペダルとFormula 5F6を組み合わせることで作ることができます。

そして、Formula 5F6は、古い音楽にしか使えないわけではありません。このペダルの持つ美しいレスポンスは、全く新しい音、全く新しい楽曲へのイマジネーションに直結します。

内部コントロール

Presence

裏蓋を外すと、内部にはトリムポットがあります。これはペダルのプレゼンスや超高域の調整を行う物で、お好みに合わせて調整できます。出荷時のセッティングで、ほとんどの状態で最高のトーンが得られるように設定されていますが、それぞれのギターやアンプ、ペダルの組み合わせは様々です。それぞれの環境に合わせ、最終的なペダルのブライトさを調整することができます。

Formula 5F6で、特にステージで使いやすい音色が作れているのなら、このPresenceトリムポットの調整は推奨しません。特に自宅やリハ、本番で音が違うことを知っているのなら、どこに合わせるべきかは言うまでもありません。もし、ステージで音がブライトすぎると感じたなら、少しPresenceを調整してみるのも良いかもしれません。これはTrebleノブの調整とは違った働きをします。TrebleノブはTone Stack回路の中にあり、アッパーミッドレンジを中心にコントロールしますが、Presenceは最終的なブライトネスのコントロールで、3kHzあたりを中心に調整します。例えば、バンドアンサンブルで、ドラマーのシンバルとのバランスを取るため、ブライトが少し欲しいなら、Presenceを調整すると良いです。出荷状態の設定では、トリムポットはセンターに調整されています。

Modeスイッチ

遂に、このシークレットリードモードについて語る時が来ました！この内部にあるModeスイッチは、Stock BassmanとSecret Leadモードの切替です。冒頭でも少しだけ述べましたが、このスイッチが、Formula 5F6をヴィンテージでローゲインサウンドを作るペダルから、カリフォルニアの火を噴くモンスターへと変貌させるスイッチなのです。

ゲインはより高く、そしてTone Stackはブライトなエッジと太さを持つ全く新しい音になります。

勘の良い人は、それはマーシャルサウンドか、と思うかもしれませんが、とても良い考察ですが、違います。

Secret Leadモードのサウンドは、あくまでもアメリカンサウンドのままの、ユニークで新しい音なのです。

最高の時間を過ごしてください。(音量注意)

Formula 5F6

Controls

TREBLE,MID,BASS

これらのコントロールは、それぞれ高域、中域、低域の調整をするもので、ツィードBassmanのトーン回路 (Tone Stack) にあたります。アンプのトーンコントロールに慣れているなら、これらのノブの役割は言うまでもないでしょう。最高の音を作るため、トーンノブの位置に関わらず、丁寧に調整してください。例えば、Trebleが最大、MiddleとBassが最小となったとしても気にする必要はありません。必要な音を作るため、本当に使えるトーンの幅はまるで巨大な宇宙のように広がっています。

通常、Gainを高く設定すればBassを低めに、Gainが低いならTrebleを低めに設定することが多いです。つまり、Gain設定によってこれらのトーン設定は決まってきます。これは本物のアンプでも同じことです。

Middleノブは、もう1つのGainノブのように使うこともできます。ミッドを高く設定すればミッドレンジがより強くなります。最大のゲインを試したいなら、MiddleノブもGainのように使ってみてください。逆に、とにかくクリアなクリーンサウンドが必要なら、Middleノブは低めにし、Trebleと、場合によってはBassを高めにしてみてください。

はじめはTreble、Middle、Bassを全て12時の位置に設定するのも良いのですが、全てのノブを最小に設定し、そこから調整する方法も試してみてください。すると、ペダルのトーンがよく分かります。なぜなら、このTone Stack回路はプリアンプの中で、2つのゲインステージの後にあるからで、これは後のブラックフェイスやシルバークフェイス期の、プリアンプの前にトーン回路がくるスタイルとは違っています。全てのトーンノブを最小にして音を作り始める場合、まずTrebleがほしい正しく聞こえるように、ペダルのON/OFFを切り替えて音の違いを確認しながら設定し、次にゆっくりとMiddleを上げていきます。最後にBassの設定ですが、ここでベースブーストが不要なら、Bassは最小のまま使うのも良いでしょう。こうした設定により、エフェクターやアンプのトーン設定に対する鋭い感性を磨くこともできます。例えばペダルのON/OFFを繰り返し、できるだけ同じ音になる設定を探してみるのも良いでしょう。完全に同じ音にするのは無理かもしれませんが、そういう遊びからも、トーンノブが思っているよりも幅広く設定できることに気づくはずですよ。

VOLUME

ペダルの出力音量を調整する、Master Volumeコントロールです。美しいクリーンと"on edge of breakup"レスポンスを実現するためには、このVolumeを最大に設定し、Gainノブを最小から少しずつ上げていって調整することで得られます。これはまさにBassmanならではの調整方法です。通常、エフェクトON時にはOFF時よりも少しだけ音量が大きくなる程度に調整すると、良い結果が得られます。

GAIN

Gainノブは、もちろんGainをコントロールするものですが、回路的に見ると、ツィードBassmanのBright Volumeと同じものです。低く設定すればきらめくようなクリーンサウンドが得られ、そこからセンターあたりまで上げれば、ピッキングの強弱やプレイングでクリーンと軽い歪みを簡単にコントロールできるようになります。そして、Gainを最大に、つまりヴィンテージBassmanで言う12の位置にすれば、カリフォルニアらしく、そして分厚いオーバードライブサウンドとなります。

BassmanのBright Volチャンネルのように、このコントロールはゲインを下げるほど音がブライトになります。(ブライトキャップ) そしてゲインを上げていくほどにブライト回路の効果は薄れます。これにより、素晴らしいきらびやかなクリーントーンと、暖かい歪みをGainノブの設定で簡単に作ることができるようになります。

しばらく使えば、自分のスタイルに合ったスイートスポットが見つかります。

(本物のアンプとは異なり、ゲインを最小にしても音がでなくなることはありません。)

Formula 5F6

ギター側のVOLUME

Formula 5F6にとって、ギターのVOLUMEノブはもう1つのコントロールと考えることができます。そうなるように設計しました。

ペダル側でゲインが高くなっても、ギターのVOLUMEを下げることでFormula 5F6は、本物のアンプのように美しいクリーンサウンドを作ることができます。そしてクリーンやクランチを自在に調整できます。さらに、ファズやブースト、歪みを追加すれば、さらにダイナミックなサウンドとコントロールが得られます。

電源

Formula 5F6 には、エフェクター用に設計された高品質の電源が使用できます。出力は、9 ~18Vセンターマイナスです。ボリューム、ヘッドルーム、パーカッシブなアタックを求める場合は、18Vの電源を使用してみてください。9Vの電源では、サウンドがややソフトになり、飽和しやすくなります。50Wと100Wのアンプの違いのようなものです！18Vはバンド演奏に最適です。ミックスを切り裂くパワーで、素晴らしいアタックと明瞭さを得ることができます。

スペック

サイズ(WxDxH): 67 x 112 x 52mm (突起含む)

重量: 241g

アダプター: センターマイナスDC9-18V

電池駆動: 9V電池

消費電流: 3mA

正規輸入代理店

@quanta Intl.

サポートはこちら

<https://quanta-intl.jp/support/>



catalinbread
MECHANISMS OF MUSIC

WARRANTY POLICY

この度はCatalinbread製品をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございました。

本品は厳密な製品検査に合格したものです。

御使用中に故障した場合は下記保証規定に従い修理・調整致します。

- 1 - 本保証書の有効期限はお買い上げ日より1年間です。
 - 2 - 本保証書は日本国内のみ有効です。
 - 3 - 保証期間内でも次の場合の修理は有償となります。
 - a. 消耗品（電池、真空管、パーツ等）の劣化による交換。
 - b. 保証期間が満了しているパーツが原因による故障。
 - c. お取扱い方法が不適当なために生じた故障。
 - d. お買い上げ後の運搬、落下や加重等による損傷、故障。
 - e. 天災（火災、浸水、地震、落雷等）による故障・破損。
 - f. 発電機の使用による故障。
 - g. 故障・破損の原因が本製品以外の機器にある。
 - h. メンテナンス不足による故障。
 - i. 指定外の者による改造、調整、部品交換などがされている。
 - j. 指定外の者による修理、調整、部品交換などにより生じた故障。
 - k. 保証書の字句が書き換えられている。
 - l. 保証期間内においても、保証書のご提示が無い。
 - m. 取扱説明書における禁止/注意事項を行ったために起きた破損
 - 4 - 修理中の代替品や商品の貸出し等は、いかなる場合におきましても一切行っておりません。
 - 5 - 保証書に購買日付、購買店舗等の記入が無い場合は無効となります。記入できない時はお買い上げ年月日・店名が証明できる領収書等と一緒に保管して下さい。
 - 6 - 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管して下さい。
-